

平成28年度 シカゴ日本人学校案内

シカゴ日本人学校をご存じですか。



北米には、文部科学省から認定された日本人学校が、シカゴとニューヨーク、ニュージャージーの計3校あります。（補習授業校は86校）

子どもを持つ駐在員にとって、何よりの関心事は我が子の教育です。日本語を母国語とし、日本の文化や芸術を身に付け、外国語と外国を理解してこそ、日本人として真の交際人たり得るとの認識のもと、これらは設立されました。

本校が誕生したのは、昭和53年9月1日のことです。スコークリー村の小学校で児童生徒103名、教職員13名による開校式兼入学式が挙行されました。設立準備開始からわずか7ヶ月余りでの開校でした。当時運営にあたった双葉会関係者や教職員の苦労が並大抵でなかったことは想像に難くありません。

以来、本校では多くの傑出した人材を社会の多方面に送り出しています。現在、86校の日本人学校がありますが、その中でも本校は世界に冠たる日本人学校との評価を得ています。

また、平成22度には新たに「すみれ幼稚園（年中組・年長組）」に年少組も開設しました。

1 シカゴ日本人学校とは どのような学校なのでしょう。

日本人学校を含む在外教育施設は、海外に在留する日本人の子どものために、学校教育法（昭和22年法律第26号）に規定する学校における教育に準じた教育を実施することを主な目的として海外に設置された教育施設をいいます。

我が国の教育を海外でも受けやすくするため、文部科学省は教科書の無償給与、教員の派遣、教材整備補助などを行っています。

また、外務省では、在外教育施設の校舎借料及び現地採用講師謝金援助などを行っています。

本校の運営は「双葉会」の母体であるJCCC（日本商工会議所）の副会長より選出された会長・副会長と、JCCC理事の推薦により選出された理事（企業関係者）、学校担当領事、学校長によって構成された「学校運営委員会」があたっています。

運営に関する費用は、保護者から徴収する授業料や入学金、各企業や団体からの寄附金などによって賄われています。いわば、日本国政府からの公的な支援に強く支えられている「私立学校」といえます。

外国に設置された学校であることから、その国から様々な形で法制上の制約を受けることがあります。例えば、教育課程の中に現地の言語や文化に関する内容を盛り込むことが義務づけられているところもあります。また、その国ならではの「特色ある教育」を盛り込むことも不可欠です。

シカゴ双葉会日本語学校全日校もまた、このような制約の中で産声をあげ、これまで発展してきたわけです。

2 文部科学省から 13名の教員が派遣されています。

本校では校長・教頭を含め、今年度13名が国費により文部科学省から派遣されています。

派遣教員は、実践力に優れ、教員として高い資質を備えています。各都道府県の厳しい選考試験を受け、さらに文部科学省で選抜された精鋭ばかりです。

英語科を中心とする13名の現地採用教員を加えた特色ある教育活動等は、素晴らしい教育環境にあるといえます。



3 学習指導要領に準拠し、 アメリカにあるという 利点を生かした取り組みとは。

日本における小・中・高等学校では、文部科学省の定めた学習指導要領に沿って、日々の教育活動を展開しています。

本校では、学習指導要領に基づき教育課程を編成していますので、日本と同様の教育を受けることができます。加えて、小学部1年生から週4時間のネイティブ教員による英語学習を取り入れるなど、英語教育にも重点を置いています。

さらに、近隣現地校との交流学习を通して、異なる文化や生活習慣を持つ人々と交流を深め、コミュニケーション能力を育むとともに、異文化への理解を深めることに努めています。

また、現地のコーチによる水泳、スケート、スキー教室などは、子どもたちが楽しみにしている活動です。

本校は毎日6時間、年間授業日数200日を確保することにより、確かな学力の定着を保障しています。

4 英語教育はようになって いるのでしょうか。

小1から中3まで一貫した英語教育を実施しています。小学生は週4時間、中学生は週5時間を設定し、習熟度別に複数のクラスに分かれ指導しています。

授業は原則英語で行われており、中学生になると、英検準2級及び2級を目指して日々取り組んでいます。



5 中学生の進路指導はどのように なっているのでしょうか。

「進路の手引き」を作成し、生徒がしっかりとした目的意識をもって進路選択ができるよう指導や支援を行っています。

卒業後、日本国内の高校へ進学する生徒は、帰国子女枠での受験も可能です。進学先は国立大学や有名私立大学の附属高校、県立高校など多岐にわたっています。また、アメリカ現地校へ進学する生徒もいます。

6 授業料などの諸費用はどのように なっているのでしょうか。

- (1) 入会金 \$ 750 (入学時に1回のみ)
 - (2) 授業料他 (年額：一人あたり)
 - ・小学部授業料 \$ 5, 262
 - ・中学部授業料 \$ 5, 628
 - ・幼稚部保育料 \$ 7, 356
 - ・小中学部通学バス代 \$ 2, 160
 - ・CL基金 \$ 170
 - ・環境整備費 \$ 240
 - ・教材費は実費
 - ・PTA会費(一家庭あたり) \$ 30
- (2016年4月現在)

7 入学、編入はどのようにすれば よいのでしょうか。

- ☆ 新入学説明会を2月上旬に実施します。
- ☆ 編入学は、常時受け付けます。ただし、小学部6年生と中学部3年生の現地校からの編入については、日本の教育課程を履修しなければ卒業認定ができないため、原則として6月を最終とします。
- ☆ 編入学する学年は国内法に基づき、義務教育相当学年とします。